

2025 年 11 月 27 日



『ホットペッパーグルメ外食総研』が開催する「トレンド座談会」レポート

令和版・理想の忘年会調査

会社・仕事関係の忘年会に参加したい？ 行きたいお店・時間帯・目的ランキングも発表

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：牛田圭一）の外食市場に関する調査・研究機関『ホットペッパーグルメ外食総研』は、外食のプロフェッショナルを集め、外食トレンドを発表するための「トレンド座談会」を開催しています。今回は「忘年会」について 20 代～60 代の男女 1,035 人にアンケート調査を実施した結果をレポートします。

■調査サマリ

■「会社・仕事関係の忘年会」に「参加したい・計」は 36.9%、若手の方が参加意欲が高い傾向

■「友人知人との忘年会」に「参加したい・計」は 74.6%、全年代で約 7～8 割という結果に

■会社・仕事関係の忘年会で行きたいお店は居酒屋のほか和食、中華、喫茶店・カフェも

↳0 次会（1 次会の前に軽く集まる会）～2 次会は全て「居酒屋」が 1 位。「和食料理店（寿司・割烹など）」は 0 次会・1 次会の両方で 2 位、「中華料理店（餃子酒場なども含む）」は 1 次会で 3 位に。「喫茶店・カフェ」は 0 次会で 3 位、2 次会で 5 位

■会社・仕事関係の忘年会の望ましい時間帯は「18 時～19 時ごろ開始、21 時ごろ解散」

↳2 位には「12 時～13 時ごろ開始、14 時～15 時ごろ解散」が入り、「忘年会はランチ帯」派も

■会社・仕事関係の忘年会の目的は「親睦」がメインだが、料理目当ての一面も

■『ホットペッパーグルメ外食総研』所長からの解説

忘年会の希望も多様化の時代に それぞれに合った忘年会の“最適解”を探してみてください

室町時代や明治時代から始まったという説もある「忘年会」文化。令和の現代ではどんな形の忘年会が求められているのか、調査してみました（結果は 2 ページ目以降参照）。

会社・仕事関係の忘年会について、「参加したい・計」は 36.9%と約 3 分の 1 という結果に。ただ、年長者よりも若手の方が参加意欲が高い傾向が見て取れ、こういった場を求める人がいることは確かです。また、友人知人との忘年会について「参加したい・計」は 74.6%と高く、年末に友人と食事に行きたいと考えている人は多そうです。

会社・仕事関係の忘年会で行きたいお店は 0 次会～2 次会まで全て居酒屋が 1 位と人気の強さを見せました。一方で特に 0 次会や 1 次会では和食、中華、喫茶店・カフェを支持する人もいました。時間帯については「18 時～19 時ごろ開始、21 時ごろ解散」が人気でしたが、2 位にはランチの時間帯が入りました。今回の結果から、会社・仕事関係の忘年会人気が高いとは言えない状況が見て取れます。忘年会についての希望も多様な昨今。お店・時間帯・参加する目的のどこを切り取っても「これをやっておけば間違いない」という“正解”はありません。ただ、いつの時代も変わらないのは「今年が終わる前にあのの人に会っておきたい」という気持ち。それぞれに合った忘年会の“最適解”をぜひ探してみてください。



『ホットペッパーグルメ外食総研』
所長 田中直樹

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

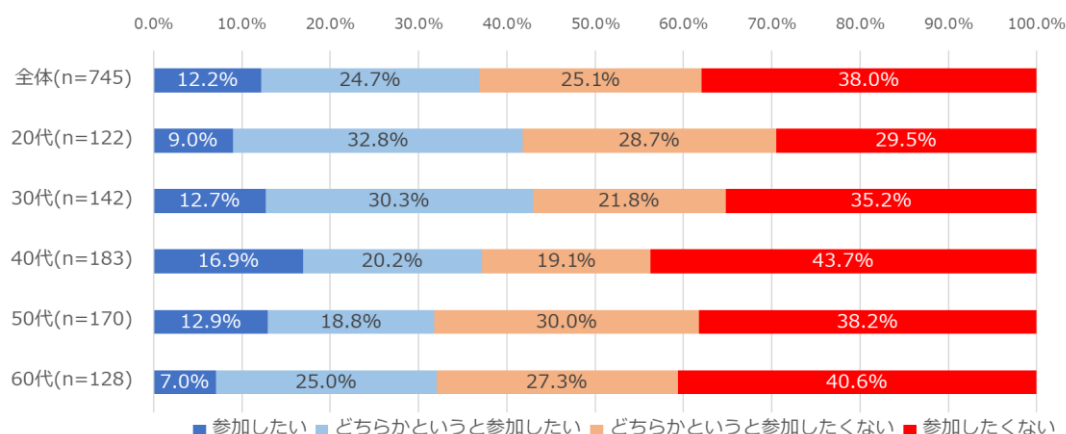
2025 年 11 月 27 日

【アンケート調査概要】

- 調査期間：2025 年 10 月 31 日（金）～2025 年 11 月 1 日（土）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査対象：全国 20 代～60 代男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
- 有効回答数：1,035 件（男性 517 件、女性 518 件）

■「会社・仕事関係の忘年会」に「参加したい・計」は 36.9%、若手の方が参加意欲が高い傾向

「会社・仕事関係の忘年会」について、各年代の参加意欲は図の通り。「参加したい」と「どちらかという」と参加したい」を合わせた「参加したい・計」は 30 代（43.0%）が最も高く、20 代（41.8%）が続きました。最も低いのは 50 代（31.8%）で、60 代（32.0%）が続いており、若い世代の方が会社・仕事関係の忘年会への参加意欲が高いことがわかりました。



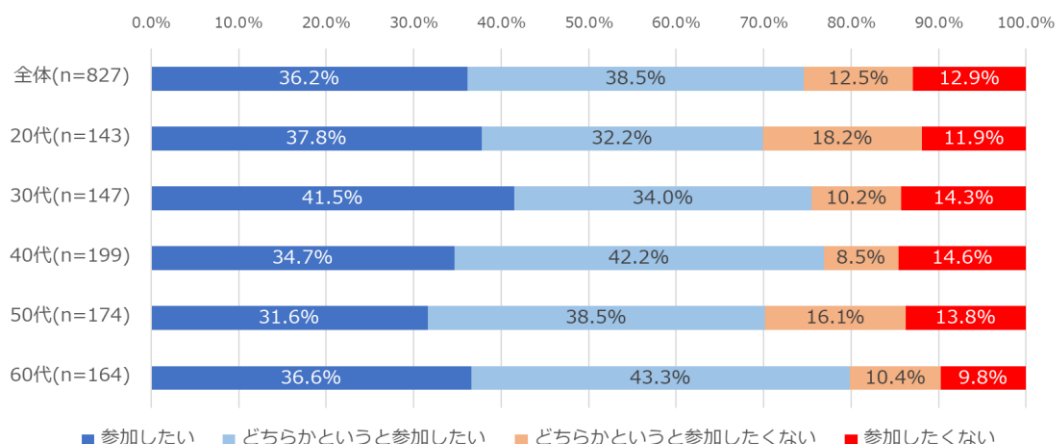
※単一回答

※四捨五入の関係で図の数値を足しても文章内の数値になるとは限らない

※全体から「このような忘年会はなさそう」の回答を除いて集計

■「友人知人との忘年会」に「参加したい・計」は 74.6%、全年代で約 7～8 割という結果に

「友人知人との忘年会」について、各年代の参加意欲は図の通り。「参加したい」と「どちらかという」と参加したい」を合わせた「参加したい・計」は 60 代（79.9%）が最も高く、40 代（76.9%）が続きました。20 代で 69.9%、30 代で 75.5%、50 代で 70.1%と全年代で友人知人との忘年会への参加意欲の高さがうかがえました。



※単一回答

※四捨五入の関係で図の数値を足しても文章内の数値になるとは限らない

※全体から「このような忘年会はなさそう」の回答を除いて集計

2025 年 11 月 27 日

■会社・仕事関係の忘年会で行きたいお店は居酒屋のほか和食、中華、喫茶店・カフェも

「会社・仕事関係の忘年会で行きたいのはどんなお店ですか？」という質問で、0 次会～3 次会までの回答で多かったもの TOP5 は表の通り。0 次会～2 次会は全て「居酒屋」が 1 位で、特に 1 次会では過半数が支持する結果になりました。3 次会では「カラオケ」が 31.0% で 1 位に。飲み会のメをイメージしてか、「ラーメン・そば・うどん等の専門店」(23.7%) が 2 位になりました。

「和食料理店（寿司・割烹など）」は 0 次会・1 次会の両方で 2 位になり、人気が高いことがわかります。また、「中華料理店（餃子酒場なども含む）」も 1 次会で 3 位（19.2%）に入るなど、中華料理店での忘年会も一定の支持層がいることがわかりました。「喫茶店・カフェ」は 0 次会で 3 位（19.1%）、2 次会で 5 位（14.4%）に入っており、短時間での利用やクールダウンに使いたいと考えている層がいそうです。

※各複数回答

※「この会には行きたくない・あてはまるものはない」の回答を除いて集計

※提示した選択肢：居酒屋、バー・バル・ワインバー・ビアホール・パブ、カラオケ、スナック・ナイトクラブ・キャバレー、和食料理店（寿司・割烹など）、中華料理店（餃子酒場なども含む）、レストラン・食堂・ダイニング・洋食店、フレンチ・イタリアン料理店、アジア料理店、焼肉・ステーキ・ハンバーグ等の専門店、お好み焼き・鉄板焼き等の専門店、すき焼き・しゃぶしゃぶ等の専門店、鍋料理店（おでん含む、すき焼き・しゃぶしゃぶを除く）、ファミリーレストラン・回転寿司、ラーメン・そば・うどん等の専門店、ファストフード（ハンバーガー・サンドイッチ等）、喫茶店・カフェ、ホテルや各種会場、この会には行きたくない・あてはまるものはない

0次会(n=582)			1次会(n=715)		
順位	行きたいお店	%	順位	行きたいお店	%
1	居酒屋	36.8	1	居酒屋	56.2
2	和食料理店（寿司・割烹など）	19.2	2	和食料理店（寿司・割烹など）	22.9
3	喫茶店・カフェ	19.1	3	中華料理店（餃子酒場なども含む）	19.2
4	レストラン・食堂・ダイニング・洋食店	16.8	4	鍋料理店 （おでん含む、すき焼き・しゃぶしゃぶを除く）	19.0
5	焼肉・ステーキ・ハンバーグ等の専門店	16.5	5	すき焼き・しゃぶしゃぶ等の専門店	16.6

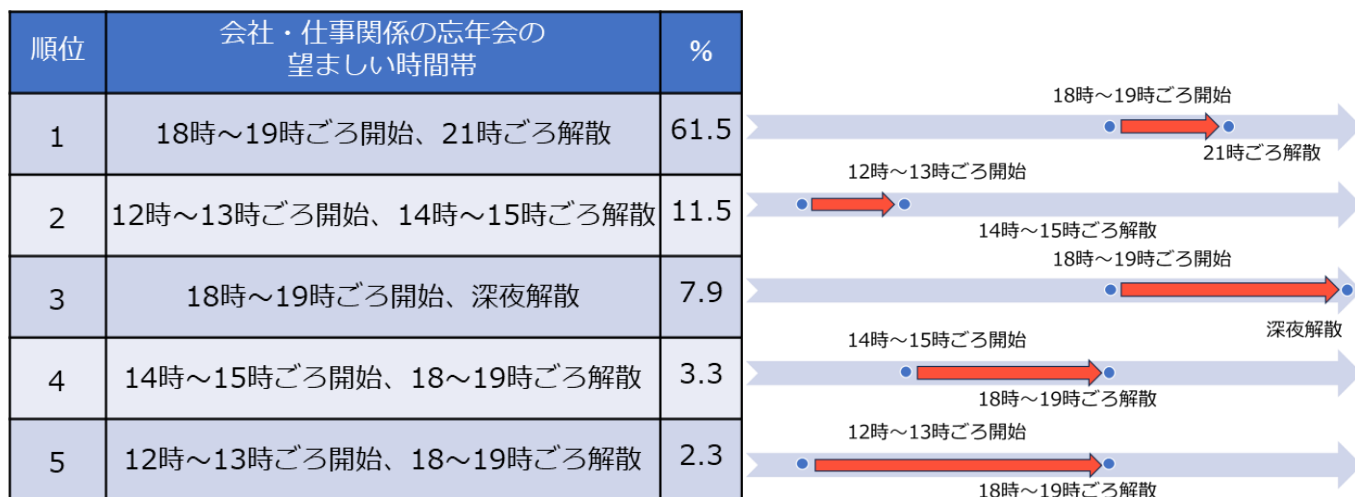
2次会(n=557)			3次会(n=358)		
順位	行きたいお店	%	順位	行きたいお店	%
1	居酒屋	35.5	1	カラオケ	31.0
2	カラオケ	30.7	2	ラーメン・そば・うどん等の専門店	23.7
3	バー・バル・ワインバー・ ビアホール・パブ	26.2	3	バー・バル・ワインバー・ ビアホール・パブ	21.2
4	スナック・ナイトクラブ・キャバレー	15.8	4	居酒屋	20.4
5	喫茶店・カフェ	14.4	5	スナック・ナイトクラブ・キャバレー	17.6

2025 年 11 月 27 日

■会社・仕事関係の忘年会の望ましい時間帯は「18 時～19 時ごろ開始、21 時ごろ解散」

「会社・仕事関係の忘年会の時間帯についてはいつが望ましいですか？」という質問で、最も多かった回答は「18 時～19 時ごろ開始、21 時ごろ解散」で、61.5%と圧倒的な割合でした。一番オーソドックスな時間帯はここといって間違いないでしょう。ただ、2 位には「12 時～13 時ごろ開始、14 時～15 時ごろ解散」（11.5%）が入り、「忘年会はランチ帯で」という人も一定数いることがわかりました。

※n=1,035／単一回答



■会社・仕事関係の忘年会の目的は「親睦」がメインだが、料理目当ての一面も

「会社・仕事関係の忘年会に参加する目的はなんですか？」という質問では、「同僚と親睦を深める」（25.0%）が 1 位でした。そのほか「日頃仕事で関わりのある人と親睦を深める」（21.7%）は 2 位、「自分が所属している部や課などの人との親睦を深める」（19.6%）が 3 位と社内での親睦を深める目的がトップ 3 を占め、7 位～10 位にも同様の目的がランクインしました。一方で 4 位には「普段食べられない贅沢な料理を食べる」、6 位には「思い切り食べる」が入っており、料理目当ての一面もありそうです。

※n=1,035／複数回答

※「忘年会には参加しない」はランキングから除く

順位	会社・仕事関係の忘年会に参加する目的	%
1	同僚と親睦を深める	25.0
2	日頃仕事で関わりのある人と親睦を深める	21.7
3	自分が所属している部や課などの人と親睦を深める	19.6
4	普段食べられない贅沢な料理を食べる	18.1
5	ストレス発散	14.3
6	思い切り食べる	13.9
7	普段仕事で関わりのない人と親睦を深める	13.5
8	上司と親睦を深める	13.2
9	他の部・課などの人と親睦を深める	12.5
10	部下と親睦を深める	10.7

2025 年 11 月 27 日

■『ホットペッパーグルメ外食総研』トレンド座談会とは

シーズンごとに“今”はやりの外食トレンドを発表する、リクルートの外食のプロフェッショナル集団による座談会。アンケート調査や、レストランの現場から“生の声”を聞き、「外食のリアル」を語ります。メンバーは、飲食トレンドの数値化・可視化を行う『ホットペッパーグルメ外食総研』の研究員をはじめ、女子トレンド、高級店トレンドなど、さまざまな分野のスペシャリストで構成されます。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、人材派遣、マーケティング・マッチング・テクノロジーの3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>